

南三陸町第 2 期総合戦略

南三陸町
令和 2 年 3 月

目次

I. 基本的な考え方	1
1. 策定の趣旨	1
2. 目的	3
3. 計画期間	3
4. まちの将来像と総合計画との関係	4
5. 推進体制	6
6. 客観的な効果検証の実施について（総合戦略策定後の取り組み）	7
7. 第1期総合戦略の振り返り	8
8. 第1期総合戦略策定時からの環境変化を踏まえた改定の方角性	12
II. 基本目標	16
III. 具体的な取り組み内容	22
1. 第2期南三陸町総合戦略施策体系図	22
2. 施策・事業と客観的指標	24
基本目標1 私たちは豊かな自然のなかでともに支えあい世代（いのち）をつなぎます	
施策1-1 若い世代の結婚したいを実現する	24
施策1-2 出産・子育てがしやすいまちづくり	25
施策1-3 「学びたい」を実現する	27
基本目標2 私たちは地域の仕事（ちから）を輝かせます	
施策2-1 まちのしごとを輝かせる	29
施策2-2 観光・交流を促進する	32
施策2-3 新たなしごとをつくる	34
基本目標3 私たちはともに未来を拓く人々が集う家（まち）をつくります	
施策3-1 移住・定住を促進する	35
施策3-2 繋がりを築き関係人口を増やす	38
横断的な目標 官民連携で南三陸町らしさを実現します	
施策4-1 民間活動をサポートする	40
施策4-2 南三陸ブランドを輝かせる	42
施策4-3 情報発信・共有の仕組みを強化する	45
施策4-4 新しい時代の流れを力にする	47
施策4-5 多様な人材の活躍を推進する	48
～南三陸町総合戦略推進会議 委員の皆様から～	50

I. 基本的な考え方

1. 策定の趣旨

まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）は、我が国における急速な少子高齢化・人口減少への対応と、東京圏への人口集中の是正、そして、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的としています。

まち・ひと・しごと創生とは、以下の 3 つを一体的に推進することとされています。

【まち】…国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

【ひと】…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

【しごと】…地域における魅力ある多様な機会の創出

南三陸町総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、南三陸町人口ビジョンを踏まえるとともに、国が定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「宮城県地方創生総合戦略」を勘案し、本町の「まち・ひと・しごと創生」の実現に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策、客観的指標等をまとめたものです。

本町では、平成 28 年 1 月に上記の考え方に基づき、第 1 期総合戦略を策定し、その実現に努めてきましたが、令和元年度に同戦略が期限を迎えることから、改めて第 2 期総合戦略を策定することとしました。

国でも、この 5 年の成果を踏まえて、改めて地方創生の次のステージとして、第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。また同時にこの 5 年の間、労働力の不足や観光客の増加、SDGs をはじめとする環境意識の高まりなど、新たな環境変化も生じています。

本町でも、この新たな動きを捉えるとともに、第 1 期総合戦略の課題と反省、成果を踏まえ、新たに第 2 期総合戦略を策定するものです。

第1期 まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019）

【基本的な考え方】

●人口減少と地域経済縮小の克服

- ①「東京一極集中」の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

●まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

【施策の企画・実行に当たっての基本方針】

●まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

- ①自立性
- ②将来性
- ③地域性
- ④直接性
- ⑤結果重視

第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024）

【新たな視点】

- ①地方へのひと・資金の流れを強化する
- ②新しい時代の流れを力にする
- ③人材を育て活かす
- ④民間と協働する
- ⑤誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ⑥地域経営の視点で取り組む

2. 目的

人口減少は、地方の存続にかかわる大きな問題であり、東日本大震災により甚大な被害を受けた本町においては、とりわけ深刻な人口予測となっています。

本町では、まち・ひと・しごと創生の理念を踏まえつつ、この課題に立ち向かい、活力ある持続可能な地域の実現に寄与することを総合戦略の目的とします。

3. 計画期間

本町の第 1 期総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「宮城県地方創生総合戦略」を踏まえた計画期間とし、平成 27 年度（2015 年度）～令和元年度（2019 年度）の 5 か年で実施しました。

本町では、引き続き第 2 期総合戦略を策定することとし、計画期間は以下の通り設定します。

令和 2 年度（2020 年度）～令和 6 年度（2024 年度） <5 か年計画>

ただし、総合戦略の効果を最大限に発揮するため、中間年度の令和 4 年度を目途に施策・事業等の見直しを行う計画とし、機動的な運用を図ることとします。

4. まちの将来像と総合計画との関係

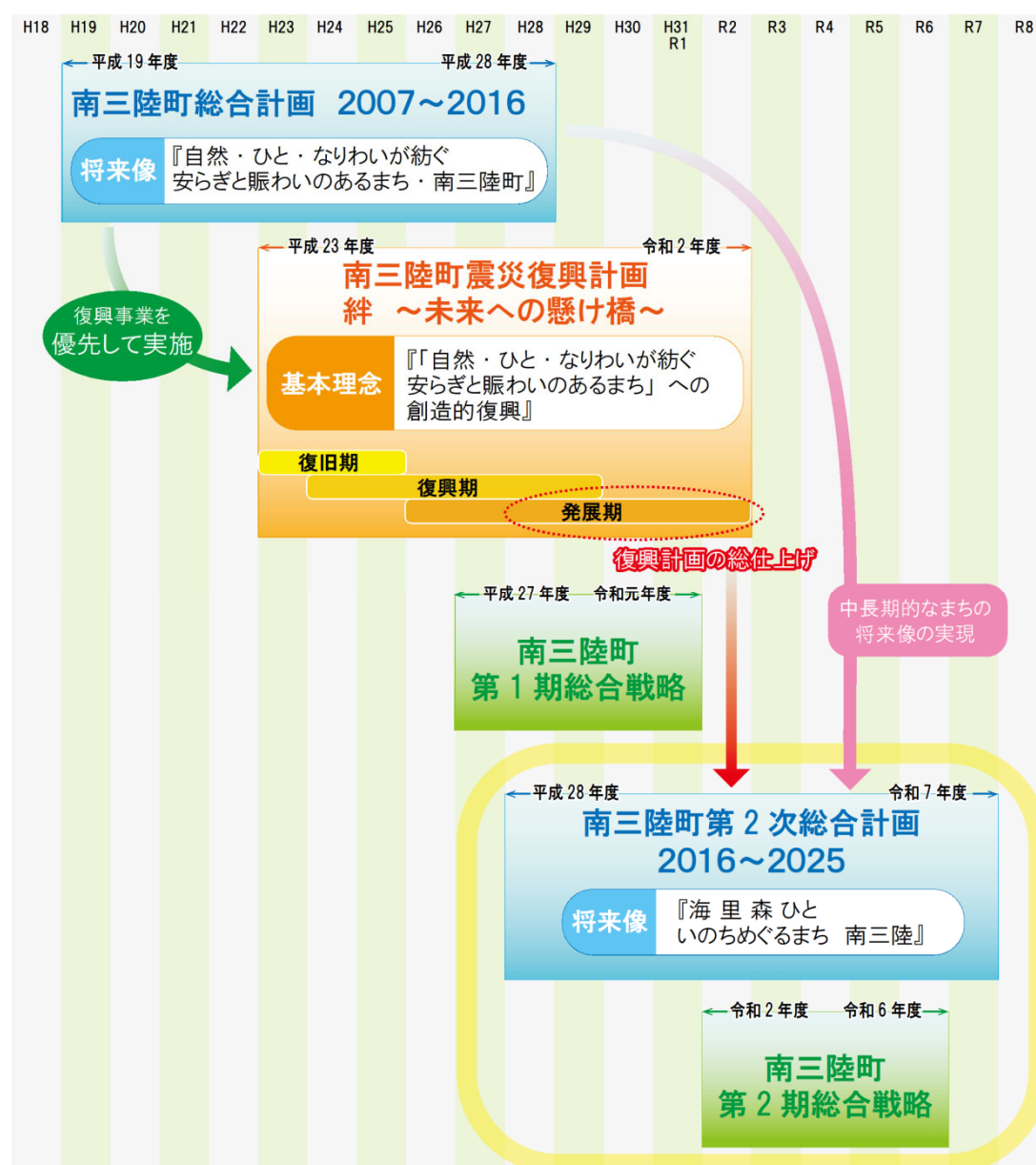
■本総合戦略と総合計画との関係

本町では、平成 19 年度（2007 年度）に、まちづくりの指針として、「南三陸町総合計画」を策定しました。しかし、計画期間中の平成 23 年（2011 年）に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けたことから、同年 12 月に「南三陸町震災復興計画」を策定し、復興を再優先としたまちづくりを進めてきました。

復旧期を経て、復興期～発展期に向かう平成 28 年度（2016 年度）には、新たに震災復興の総仕上げとして、復興後に本町が向かうべきまちづくりの指針を示した「南三陸町第 2 次総合計画」を策定しました。

本総合戦略（第 2 期総合戦略）は、この第 2 次総合計画に基づいて実施していきます。

総合計画・震災復興計画の関係（第 2 次総合計画より抜粋・加筆）



■総合計画に掲げるまちの将来像

平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）までを計画期間とする南三陸町第2次総合計画において、これらの本町が目指すまちの将来像について、これまで目指してきた「自然・ひと・なりわいが紡ぐ 安らぎと賑わいのあるまち・南三陸町」の趣旨を踏襲しつつも、震災による“気づき”をもとにその趣旨を発展させ、次の通り定められています。

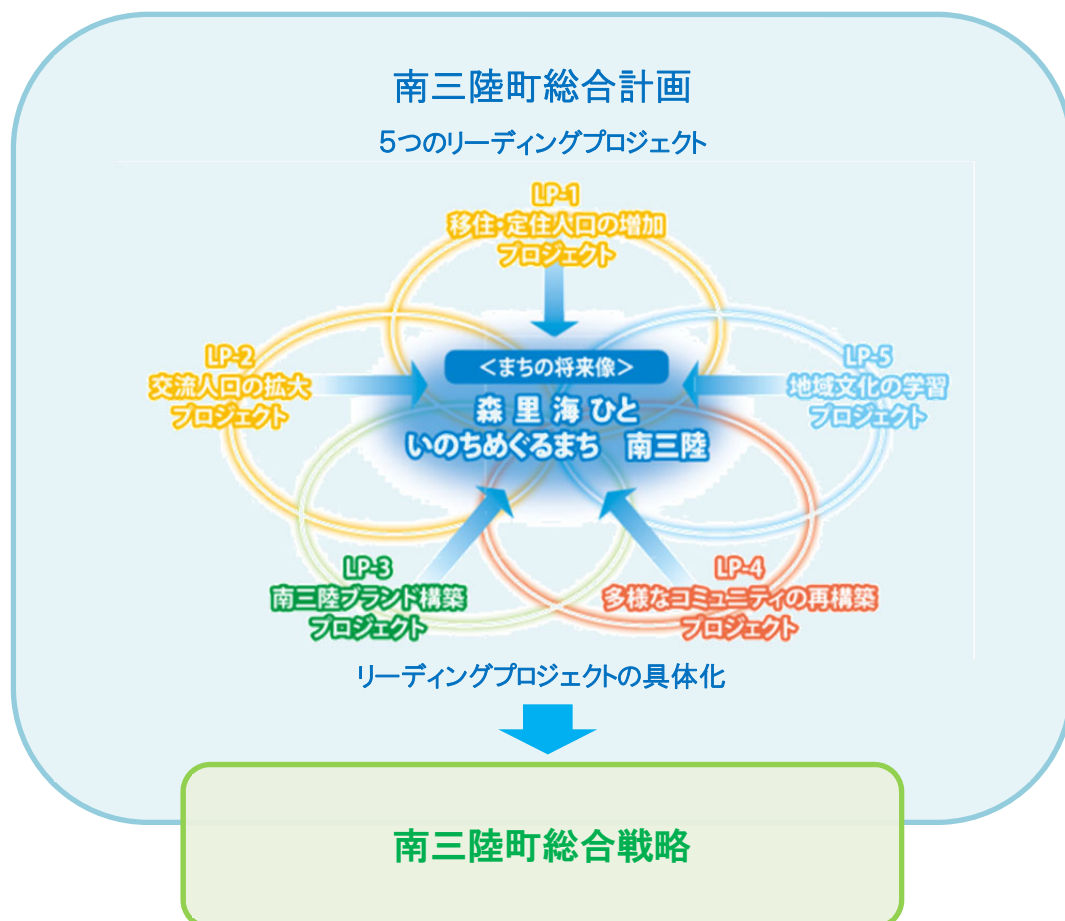
南三陸町第2次総合計画 ～まちの将来像～

森里海ひと いのちめぐるまち 南三陸

総合戦略は、南三陸町総合計画を上位計画として、特に人口減少に対応した取り組みに的を絞ったものであり、これを確実に推進することで、この将来像の実現の一翼を担うものです。

特に総合計画では、重要性と先導性を持つ分野横断的な政策として、5つのリーディングプロジェクトを設定しており、これらを具体化していくことも本戦略の大きな目的となります。

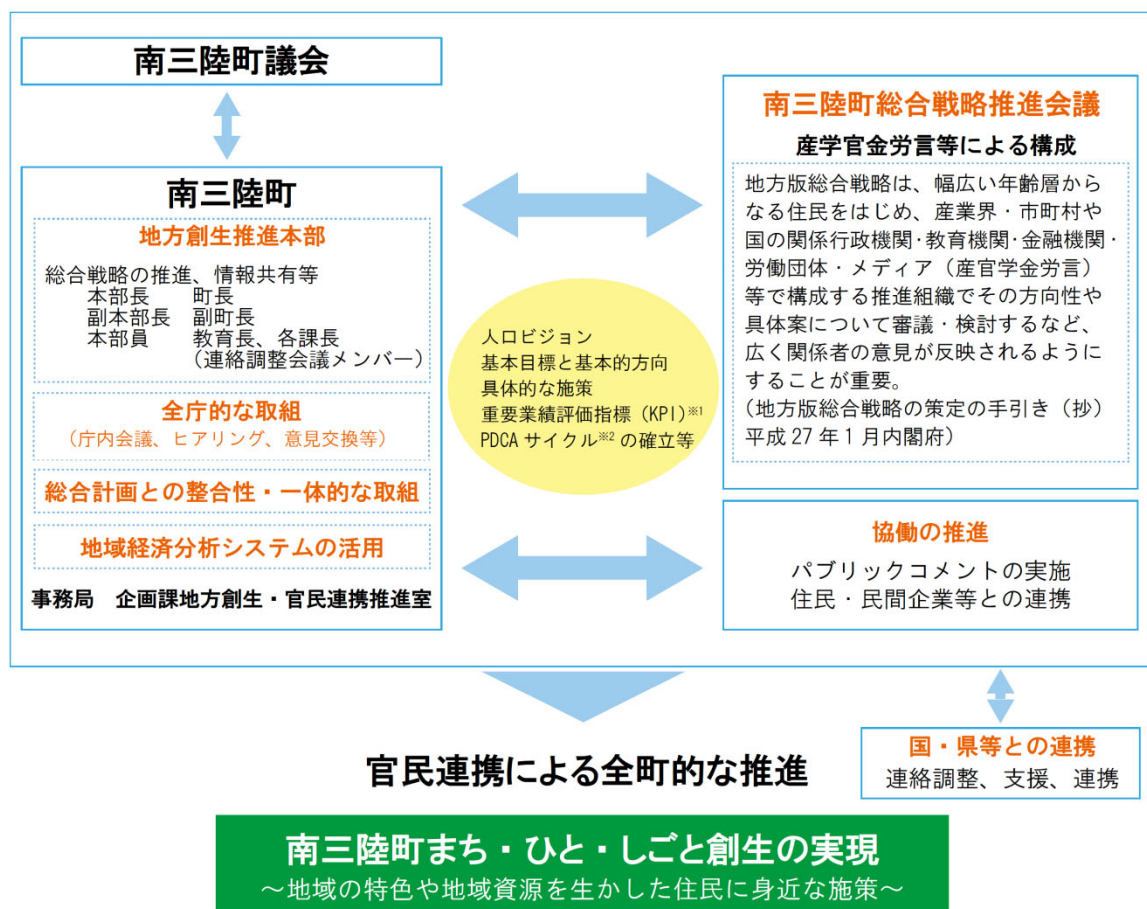
南三陸町総合計画と総合戦略の関係



5. 推進体制

本総合戦略は以下の体系で推進します。

- 人口減少問題への対応は、行政のみならず、民間企業や住民等も含めた多様な主体の参加を促し、協力して取り組む必要があります。
- 「南三陸町総合戦略推進会議」は、産官学金労言及び住民の代表で構成される会議で、総合戦略の改定や推進についての審議を行い、戦略の効果をチェックする役割を担います。また、官民連携の推進と民間の活動を活性化するプラットフォームとしての役割も期待されます。



※1 KPI：Key Performance Indicator の略。政策ごとの達成すべき成果指標

※2 PDCA サイクル：PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（評価）、ACTION（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと

6. 客観的な効果検証の実施について（総合戦略策定後の取り組み）

総合戦略策定後は、以下のスケジュールに基づき効果の検証を行います。毎年2回「南三陸町総合戦略推進会議」を開催し、以下の内容を審議・検討します。

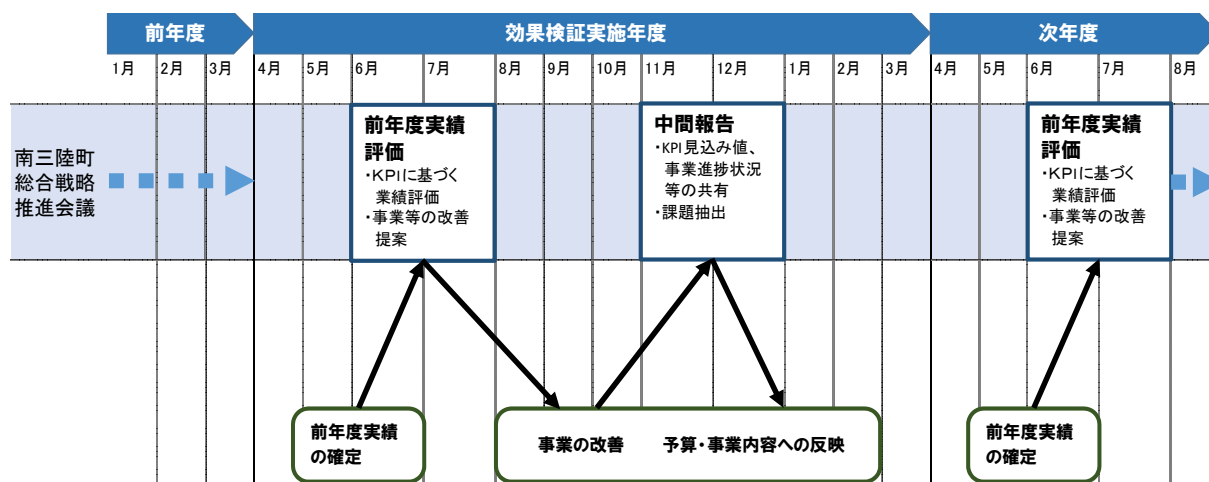
●毎年6～7月

前年度実績評価のため、KPIに基づき、各事業の進捗状況等を審議します。

KPIが未計測の場合には、各事業担当課の意見等を聞き取り、前年度の振り返りを行います。

●毎年11月～12月

年度内の取り組みに関する中間報告と、次年度へ向けた検討等を行います。



7. 第1期総合戦略の振り返り

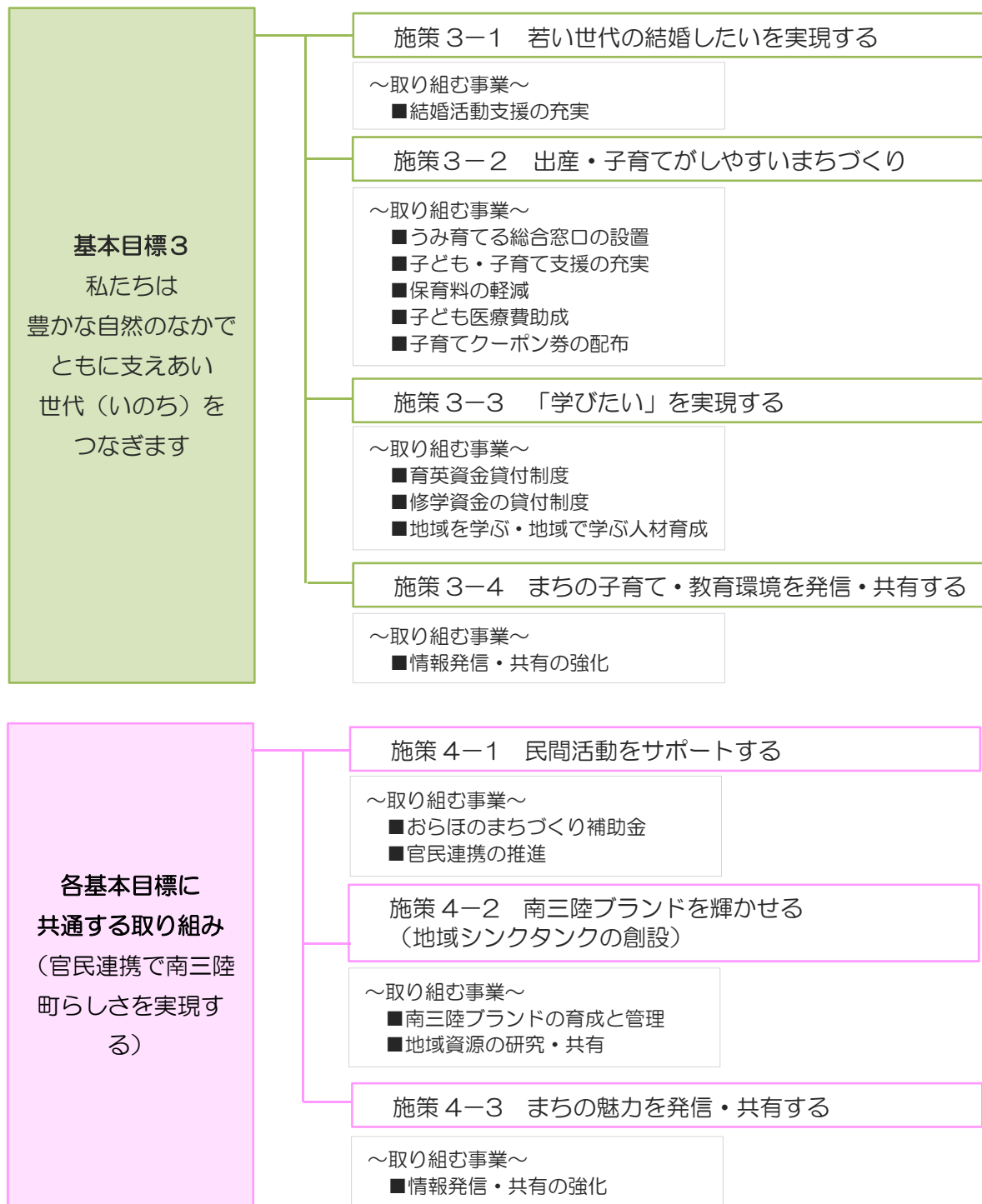
■第1期総合戦略のKPIの達成状況の評価

本町では、平成27年度（2015年度）～令和元年度（2019年度）の5か年で第1期総合戦略を実施しました。

第1期総合戦略では、策定以降、前頁に掲げた客観的な効果検証を毎年実施し、随時改定を行ってきました。最終の令和元年度には以下に示す通り、3つの基本目標及び共通項目の下、14施策29事業に取り組んできました。これらの取り組みについてKPIの達成状況を評価しました。

第1期 南三陸町総合戦略 施策体系図





■達成状況の評価結果

第1期総合戦略では、各取り組みの達成状況を、KPIを用いて評価した結果、以下の通りとなり、KPIを達成できた取り組みは全体の半分弱にとどまりました。

未達成の中には、社会環境の変化などから残念ながら効果が十分に得られなかった事業もあれば、今後事業が本格化するもの、KPIとしては達成できていないものの別の観点から見れば成果をあげているものなどがあります。

これらの達成状況の評価から、本戦略においては、以下の考え方をもとにKPIの見直しを行いました。

第1期総合戦略の評価を踏まえてのKPIの見直しの考え方

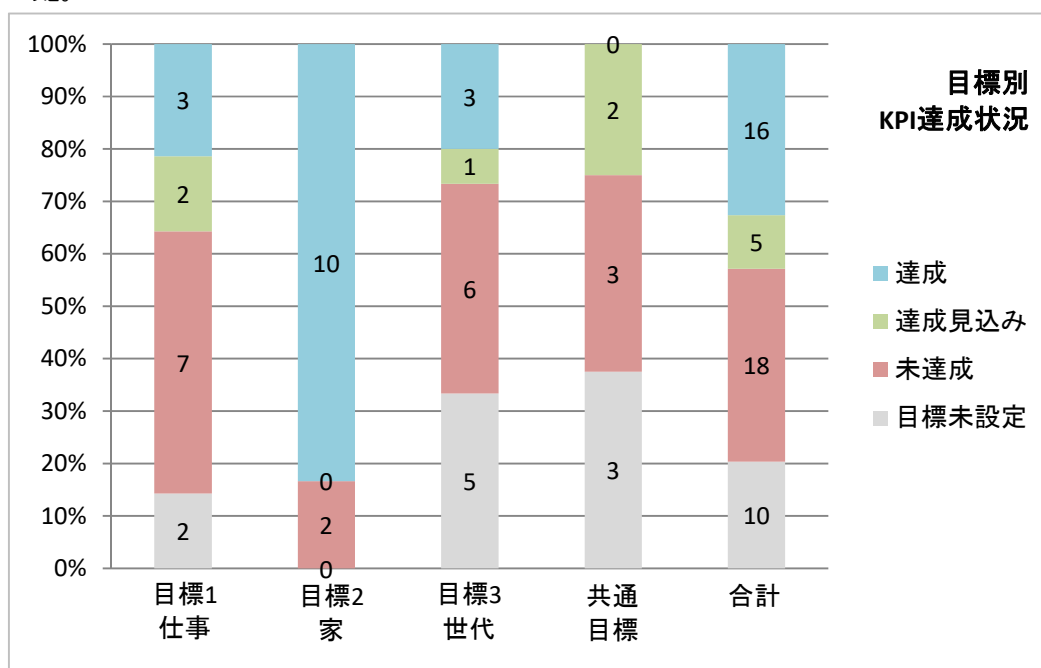
- 未達成の事業を中心に、第1期総合戦略を踏まえた課題・反省点を本戦略に記載し、今後の事業実施・評価にむけた留意事項として整理する。
- 環境変化からやむを得ず未達成となったもの、別の観点からみれば成果が上がっていると判断されるものについては、より実効的な目標値、指標に変更する。
- そもそもKPIを設定できていない項目もあり、取り組み全体として正確な評価を行うため、本戦略ではすべての取り組みについてKPIを設定する。

《総合戦略全体の達成状況》

◇目標ごとのKPIの達成状況は目標2を除き、達成・達成見込みのものは少ない。

◇全体としては半分近くが達成（未設定を除き、見込み含む）。

◇目標を設定していない事業が約4分の1あるため、取り組み全体としての評価が困難。



目標別 KPI 達成状況

※評価は事業に含まれる取り組み単位で行っています。

1つの取り組みに2つ以上のKPIが設定されている場合は、別々にカウントしています。

《目標ごとの達成状況》

◇基本目標1

雇用分野では、「雇用促進の奨励」など一部が未達成。雇用環境の変化に応じた施策・目標設定が必要。

交流分野では、「観光・体験・交流の促進」の教育旅行の取り組みや、「訪日外国人誘致の促進」が未達成。一方、交流人口は拡大しており、ターゲットを絞った取り組み施策が課題。

◇基本目標2

全体的に目標を達成している中、「情報発信・共有の強化」、「移住総合窓口の設置等」の空き家バンク制度の構築が未達成。空き家バンク制度は平成 29 年度に開始した制度であり、今後の利用拡大が課題。

◇基本目標3

全体的に未達成、目標未設定の取り組みが多い中、「うみ育てる総合窓口の設置」、「情報発信・共有の強化」、「子ども・子育て支援の充実」の一部の取り組みは目標を達成している。

達成見込みも「結婚活動支援」のみであり、目標設定の見直しを含め、検討が必要。

◇共通目標

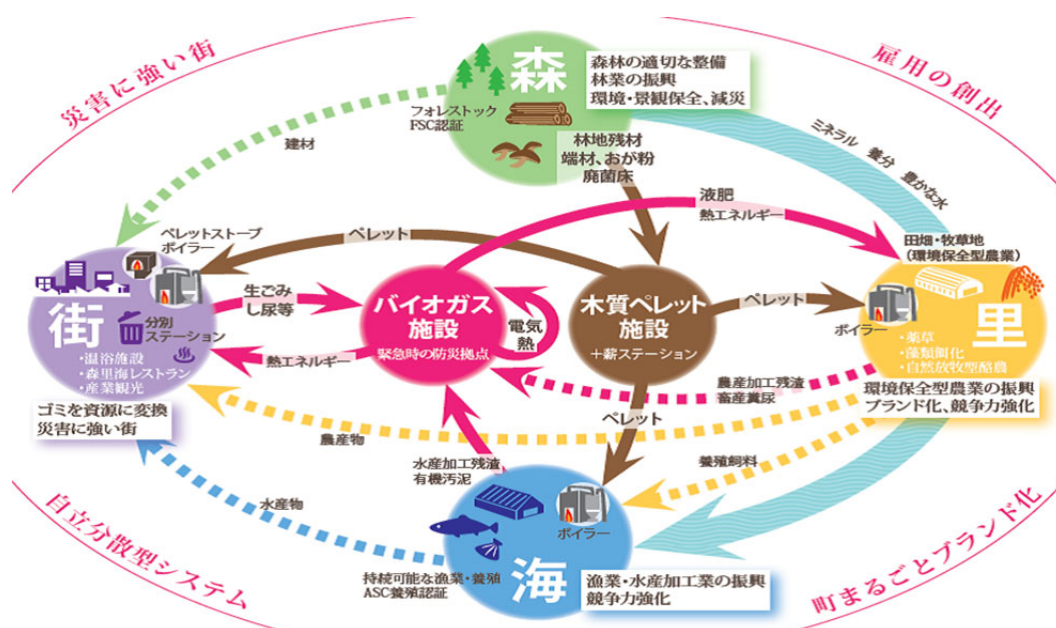
目標を達成している取り組みはなく、達成見込みも「情報発信・共有の強化」のみ。ブランド、地域資源は今後本格化するものが多く、着実な実施が必要。

8. 第1期総合戦略策定時からの環境変化を踏まえた改定の方角性

第1期総合戦略策定以降の本町及び全国的な状況の変化を捉え、第2期の総合戦略を策定するうえでの方角性を整理しました。

《南三陸町の変化》

- 東日本大震災以前より減少傾向にあった本町の人口は、震災の影響により大きく減少し、依然として減少傾向にあります。震災後の平成26-27年頃と比べると人口減少の割合は小さくなっており、減少傾向は緩やかになりつつありますが、少子高齢化は進行しています。
- 町内総生産額は、復旧・復興が進み、平成24年以降増加しています。農業・水産業やサービス業は、震災前の水準に戻っていませんが、建設業の他、製造業は震災前の水準を回復しています。
- 町営住宅は、復興計画の進捗に伴い災害公営住宅の整備が進み、平成29年3月の志津川中央住宅の完成をもって、災害公営住宅全738戸の整備が完了しました。今後は維持管理を進めていくことになります。
- 文化施設の利用者数、公共交通の利用者数などは、震災により施設が被害を受けたこともあり、一部を除き減少傾向が続いていましたが、平成31年4月に生涯学習センターがオープンするなど施設の再整備も進み、今後は運営・利用増に向けた取り組みが求められます。
- 南三陸町ではまちの将来像に掲げている「森、里、海、ひと」を意識した地域資源のブランド化に取り組んでいます。SDGs※3に基づく考え方による官民連携による南三陸ブランドづくりとともに、循環型社会の構築に向けた独自の取り組みを進めています。震災を契機として、外の目線から気づきが得られ、町内外の人とのネットワークと交流、移住者等による新しい関係ができ、町内外企業が連携した取り組みとなっています。

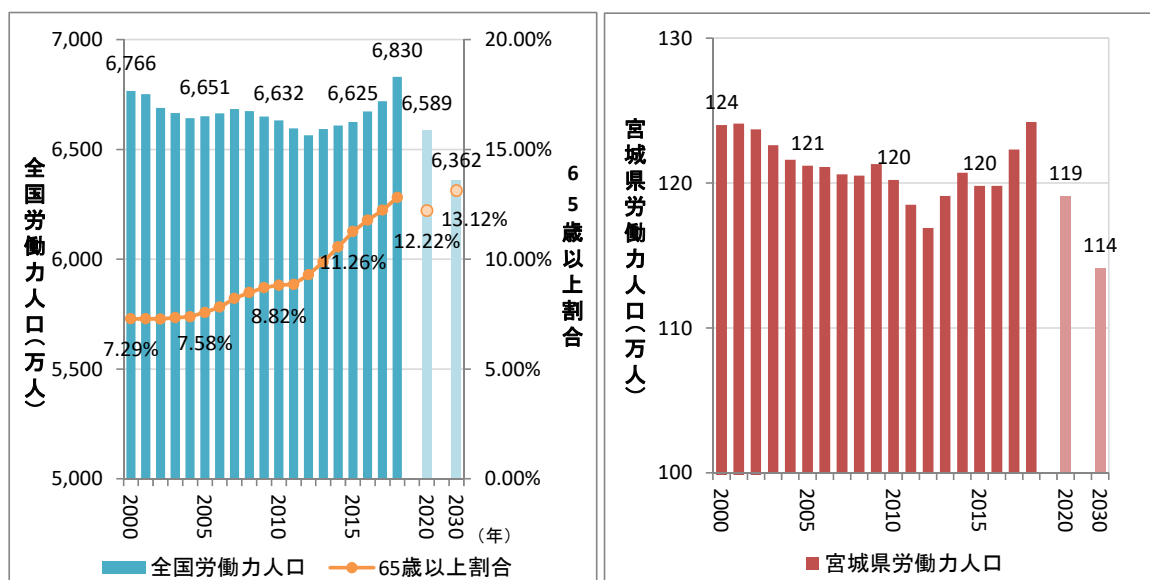


南三陸町における地域循環型社会のイメージ

※3 エス・ディー・シー・ス
SDGs: Sustainable Development Goals の略。2015年9月の国連サミットで採択された、加盟193か国で2030年迄の15年間で達成するために掲げた持続可能な開発目標。

《社会環境の変化》

- 本戦略策定時の2020年には、2011年の東日本大震災から丸9年が経過することになります。10年と定められた復興期間のうち、後期の「復興・創生期間」の終盤に入っており、復興の「総仕上げ」として、国の復興の基本方針では、被災地の自立につながり地方創生のモデルとなるような復興を目指すと言われており、純粋な復旧・復興から、これからの地方のあり方を指し示す戦略がより一層求められています。
- 東日本大震災以降も、地震災害・豪雨災害などが各所で発生しており、地震・津波以外の災害も含めた、防災への意識の高まり、国土強靱化計画の導入、災害に強いまちづくりの必要性も高まってきています。
- 近年、全国労働力人口は2013年以降6年連続で増加しており、宮城県でも2016年以降3年間増加が続いています。労働力人口が増加した要因の一つとして、景気の回復と共に人手不足感が強まり、高齢者や女性を含めて働き手として確保する企業が増加していることが挙げられます。特に高齢者は団塊世代の高齢化とあわせて、労働力人口増加の大きな要因となっていますが、今後は人口減少に伴い、労働力人口も減少することが予測されています。介護や育児と両立して働くことができるようなワークライフバランスへの意識の高まり、また、東京だけでなく、Uターンなど地方に住みながら働く考え方も普及し、地方での起業や移転、また人材の動きも活発化し、また一時的に地方で仕事をするワーケーション※4といった考え方も広まりつつあります。



労働力人口の推移

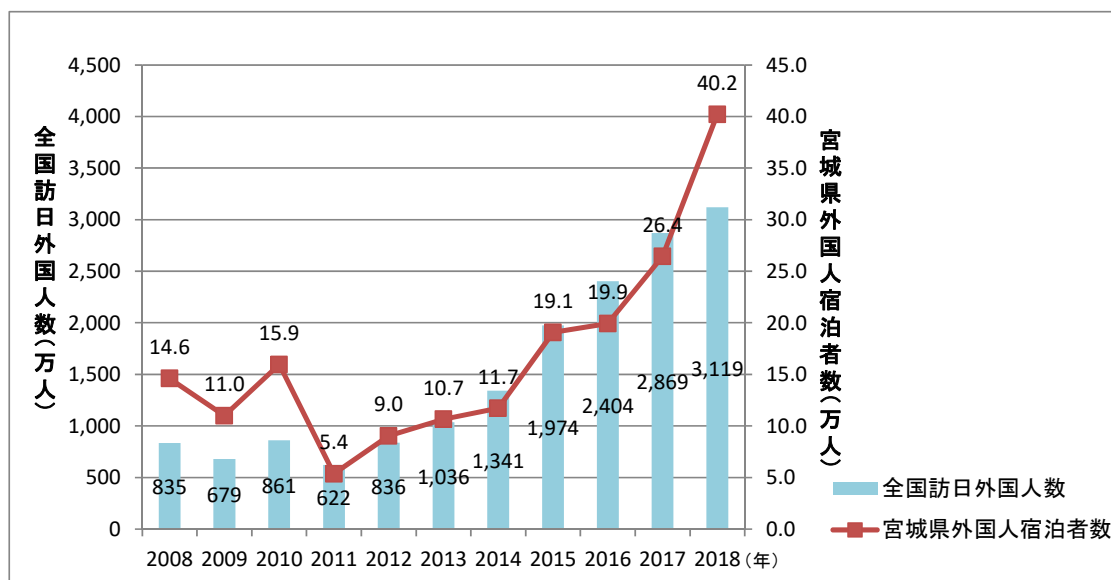
出典：2018年までは総務省統計局「労働力調査」、2020・2030年は

JILPT(独)労働政策研究・研修機構「平成27年労働力需給の推計」

(注)2020年、2030年の推計値は、経済成長と労働参加が適切に進むケース(「日本再興戦略」『改定2015』を踏まえた高成長が実現し、かつ労働市場の参加が進むケース)

※4 ワーケーション：ワークとバケーションを組み合わせた造語。環境のよい地方などで休暇を兼ねてリモートワークを行う労働形態。

- この10年ほど、全国的な訪日外国人数の増加と共に、特定の観光地以外への外国人観光客の流れが生まれており、宮城県でも外国人宿泊者数が大幅に増加しています。その他、外国人労働者の労働規制の緩和をはじめ、地方企業の海外への販路拡大など地方と海外を直接つなぐ企業活動など、多様な側面で地方と海外とのつながりが活発になりつつあります。



全国訪日外国人数及び宮城県外国人宿泊者数の推移

出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外国人数の推移」／宮城県「観光統計概要」

- 技術・システムの面からも、特に情報技術の社会への影響が新たなステージへ展開しつつあり、5G※5などの情報通信の発達にともない、IoT※6、MaaS※7など、情報技術がモノやサービスを変えつつあります。さらに世界的な環境問題意識の高まりから、世界共通の環境指標としてSDGsが普及し、行政計画の分野でも重要性が高まっています。

これらの変化を踏まえて、以下の視点を整理し、これらをもとに第2期総合戦略策定へ向け、見直しを行いました。

※5 5G：第4世代携帯電話(4G)あるいは、4GLTEの上位に位置付けられる次世代通信方式の通称。

※6 IoT：Internet of Thingsの略。インターネット経由でモノを繋ぐこと。

※7 MaaS：Mobility as a Serviceの略。マイカー以外の全ての交通手段による移動を一つのサービスとしてとらえ、シームレスに繋ぐ新たな移動の概念。

第 1 期総合戦略策定時からの環境変化を踏まえた総合戦略見直しの方向性

- 関係人口への着目が高まる中、交流人口の拡大は継続していることから、感謝・おもてなし・ふるさと意識といった点に着目しつつ、今後、復興計画完了後も拡大を維持・加速させる視点が必要となる（“南三陸ファン”をつくる）。
- 人口減少と労働者不足が顕著化する中、今後本格的な労働者不足の時代へ移行してくる。一方、働くことと生活することをともに大切にワークライフバランスへの注目が高まっている。そのため、魅力ある仕事、労働者不足に対する人材の確保（女性、高齢者、障害者、外国人）、生産性の向上といった視点が求められる。
- このような背景から、人材の呼び込みとともに、今後の地方創生の基盤をなす人材を育成していく観点が必要となる。
- そのためには、空き家バンク等の移住・定住への取り組みの加速化が必要である。ブランド育成にあわせた情報発信や、地方と都心の2拠点で活動するなどの新たな働き方への対応も求められる。
- 防災・減災を含め、まちの震災の記憶を語り継ぎ、地域文化の継承や地方創生を担う人材育成の観点が必要となっている。
- 南三陸ブランド、シンクタンク機能の本格化といった、仕組みの構築から具体的な活動・成果につながる段階に向けて、推進力をもった取り組みを進める必要がある。
- Society5.0 にむけた新技術、SDGs といった新たなシステムを、ブランド化や情報発信に活かすとともに、意識啓発も併せて、町に適合させ上手く使いこなしていく姿勢が必要である。民間の取り組みの支援や各種行政計画への SDGs の取り込みなども期待されている。

Ⅱ. 基本目標

■基本目標にこめる思い

東日本大震災からの復興、そして将来に向かってよりよい南三陸町の実現にむけ、以下の想いを込めて、総合戦略の目標を定めました。

南三陸町総合戦略 ～基本目標にこめる思い～

南三陸町は、東日本大震災により、多くの悲しみと被害を被りましたが、だからこそ気づいたまちの良さや希望があります。

まちの将来像には、その思いが反映されています。また、南三陸町には、住民が中心となって制定された素敵な町民憲章があります。

総合戦略の基本目標は、これらの理念を引き継ぎ、人口減少という困難な地域課題に、住民や事業者や行政が主体的に関わり、町外の方にも仲間になっていただきながら、よりよい未来を模索し、持続可能なまちをつくっていく、という決意を込めました。



■基本目標の設定

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示されている4つの基本目標及び政策パッケージの構成を踏まえつつ、本町の目指す将来像を象徴として、住民が主役となる活力ある持続可能な地域の実現のため、総合戦略の基本目標を設定します。

本総合戦略は、本町総合計画において地方創生を実現する戦略として位置づけられており、急速な少子高齢化・人口減少への対応と地方の活力向上を目指しています。第2期戦略では、第1期戦略で基本目標3に位置付けられていた「私たちは豊かな自然のなかでともに支えあい世代（いのち）をつなぎます」を、基本目標1とします。

また、第1期総合戦略において本町ならではの個性豊かな取り組みをまとめた『各基本目標に共通する取り組み（官民連携で南三陸らしさを実現する）』は、第2期戦略で実施段階に入る事業も多いことから、更に充実を図ることとします。

これには令和元年改定の国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において追加された「横断的な目標」の考え方も含め、連携や交流、新技術といった要素を通じて町の特性を強化することを戦略全体の横断的な目標として、『各基本目標に共通する取り組み（官民連携で南三陸町らしさを実現する）』を『横断的な目標（官民連携で南三陸町らしさを実現する）』に改めて設定します。

国：第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

4つの基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

国：第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

4つの基本目標と2つの横断的な目標

【基本目標】

- ① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【横断的な目標】

- ① 多様な人材の活躍を推進する
- ② 新しい時代の流れを力にする

町の将来像

森 里 海 ひと いのちめぐるまち 南三陸

南三陸町 第2期総合戦略

基本目標

序文

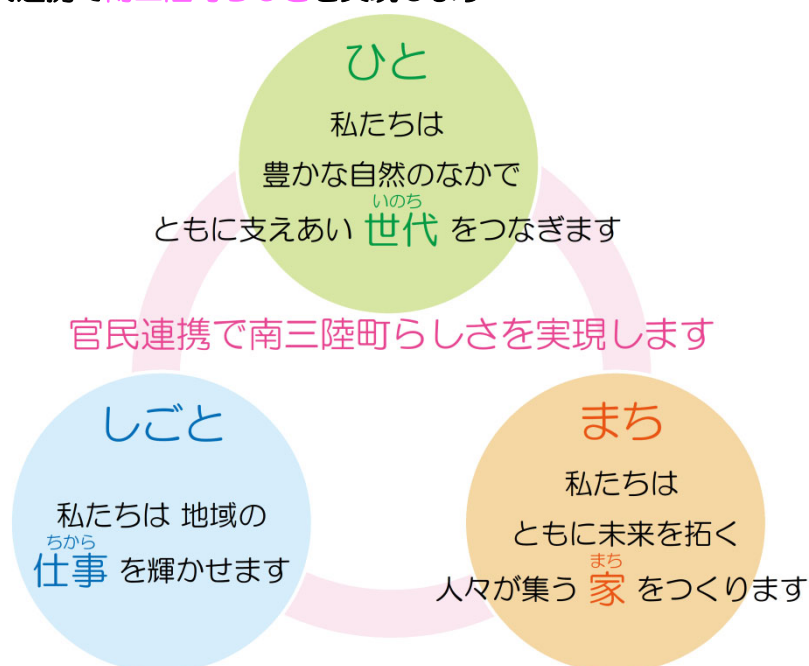
私たちは 東日本大震災を経て 気づかされました。
森 里 海 ひと いのちがめぐって 生かされていることを。
だから私たちは いのちめぐるまちをつくるため ここに宣言します。

基本目標1 私たちは 豊かな自然のなかで とともに支えあい ^{いのち}世代をつなぎます

基本目標2 私たちは 地域の ^{ちから}仕事を輝かせます

基本目標3 私たちは とともに未来を拓く人々が集う ^{まち}家をつくります

横断的な目標 官民連携で南三陸町らしさを実現します



基本目標 1 私たちは 豊かな自然のなかで ともに支えあい ^{いのち}世代をつなぎます

基本的方向	・結婚、妊娠から子育てまで、一貫して相談できる体制を整える。 ・公的サービスや子育てサークル等を含め、地域全体の見守りのなかで安心して子育てができる環境づくりを後押しする。 ・地域子どもたちが、地域資源やそれに携わる大人たちの背中を見て学べる地域をつくる。そして地方創生を担う人材に育てていく。 ・子どもたちの学びたいを地域で支える。
成果指標	目標値
合計特殊出生率	令和 6 年（2024 年）：1.58 以上

世代（いのち）：サケが次世代を育むため南三陸の川に帰るように、豊かな自然に抱かれ「いのち」をつないでいくことを表現。

基本目標 2 私たちは 地域の ^{ちから}仕事を輝かせます

基本的方向	・地域のしごとをより魅力あるものとし、働きたい職場をつくる。 ・地域のしごとと、しごとを求めるひとをつなぐ。 ・暮らしとしごとの関係を見直し、地域に色々な働き方を取り込む。 ・地域交流拠点を整備し、町内外の人の流れをつくる。
成果指標	目標値
南三陸町内事業所数	令和 6 年（2024 年）：415

仕事（ちから）：地域に根付く仕事には、歴史、背景、人物や可能性など、様々な魅力が詰まっていると同時に、地域を支える重要な仕事（ちから）であることを表現。

基本目標 3 私たちは ともに未来を拓く人々が集う ^{まち}家をつくります

基本的方向	・既存資源を有効に活用し、地域課題に立ち向かう人材を地域に呼び込み、定着を促す。 ・地域の良さを生かし、伝える人材を地域に呼び込み、定着を促す。 ・外に一度出た人が帰ってきたいと思うふるさとをつくる。 ・地域に関わる人の交流を活発化し、移住・定住にとらわれない「南三陸コミュニティ」を拡大することで、新しい人の流れをつくる。
成果指標	目標値
転出超過者数	令和 6 年（2024 年）：転出超過者数 70 人未満

家（まち）：現在住んでいる人も、帰ってくる人も、これから入ってくる人も、一緒に未来を創っていく場所、集える場所を、家族が集う家（まち）のような存在としたいという思いを表現。

横断的な目標 官民連携で南三陸町らしさを実現します

基本的方向	・民間活動を適切にサポートし、民の活力を引き出す。 ・南三陸ブランドを育成・管理し、内外に効果的に伝える。 ・資源循環型のまちづくりを進め、持続可能な地域を育てる。 ・新しい時代の流れを力に、新たな技術の導入と情報発信を強化する。 ・企業版ふるさと納税制度を積極的に活用し、官民連携による南三陸町らしい地方創生の取り組みを推進する。 ・まちの記憶を語り継ぎ、共有化し、地域の一体感を育む。 ・多様な人材の活躍により南三陸らしい地域を醸成する。
-------	---

■成果指標の考え方

基本目標1 合計特殊出生率 及び 基本目標3 転出超過者数

南三陸町人口ビジョンにおいて、2030年（及び2040年）の目標値が設定されており、その実現に向けて毎年数値を改善していくことを考慮して、第2期総合戦略最終年度である2024年（令和6年）に達成すべき目標として、以下の目標値を定めます。

合計特殊出生率:1.58 以上

(1.40(2019年) ⇒ 1.80(2030年) ⇒ 2.07(2040年))

《設定根拠》合計特殊出生率

合計特殊出生率については、2030年の1.80へ向けて、その後は2040年の2.07へ向けて引き上げます。各年の目標値については、「南三陸町人口推計システム」を用いて算出します。

転出超過者数(転出者-転入者):70人未満

(140人(2019年) ⇒ ±0人(2030年))

《設定根拠》転出超過者数

転出超過者数については2030年の転入・転出均衡へ向けて、転出超過者数を毎年直線的に0に近づけます。

基本目標2 南三陸町内事業所数

町内の仕事を輝かせる場所は事業所数に置き換えて考えることができます。

したがって、町内事業所数の推移とその背景を考慮して、第2期総合戦略最終年度である2024年（令和6年）に達成すべき目標として、以下の目標値を定めます。

南三陸町内事業所数:415

《設定根拠》南三陸町内事業所数

近年の町内の事業所数は、430事業所程度で推移しています。このうち、震災復興関連の建設業が多く含まれていると考えられ、復興期間中に30事業所の建設業事業所の増加がみられます*。

(町内に事業所のみを置いている事業所は163事業所（H30年度実績）)

今後、復興事業の収束に伴い建設業の縮小が予想されますが、それが復興後の町の縮小に直接つながらないよう、持続可能な地方創生に取り組んでいきます。

※法人住民税納税義務者は、納税者の業種ごとに件数を調べるのが困難であるため、経済センサスの値を参考としました。（建設業事業所数 H24:34事業所、H28:64事業所）

(参考) 南三陸町内事業所数の推移

年	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)
事業所数	417	427	430	433	429

出典:「法人住民税 納税義務者等に関する調」

参考 南三陸町人口ビジョンにおける目標値

南三陸町人口ビジョンの推計による本町の人口は、このまま何もアクションを起こさなければ、2060年（令和42年）には3,700人を割り込むことが予想されています※8。

本町の人口減少は、今後数十年にわたって避けられない状況ですが、持続可能な地域をつくるためには、その減少幅を抑制しつつ、次世代が着実に生まれ育つ人口構成を目指すことが重要です。

そのためには、人口減少の要因である「出生率の低下」と「転出超過」の状況を改善する必要があります。

人口ビジョンでは、それらの改善について、以下のとおり目標を定めています。

● 合計特殊出生率

1.80(2030年) ⇒ 2.07(2040年) ※ 人口置換水準へ引き上げる。

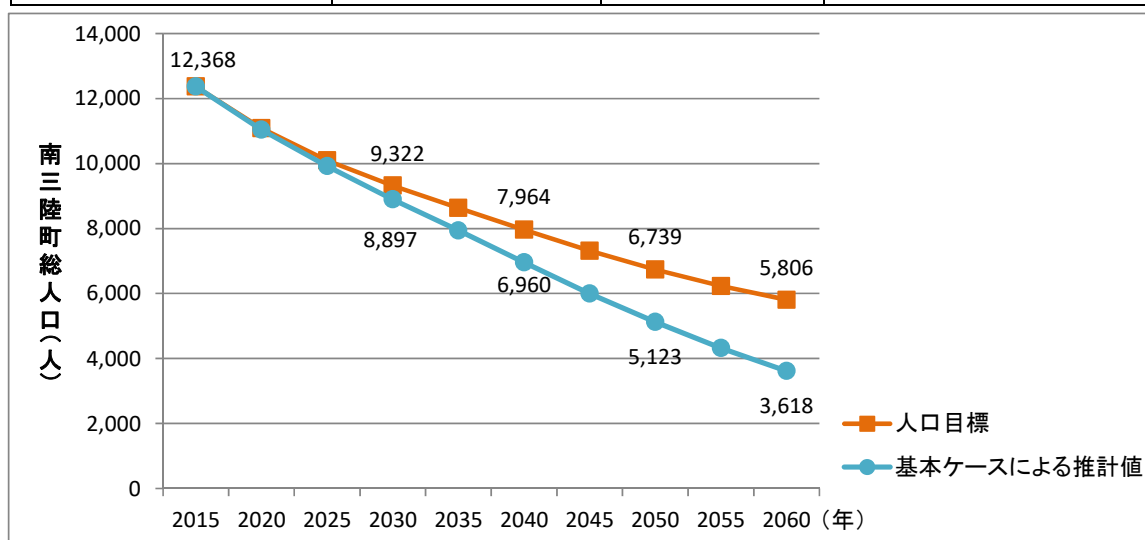
● 転出超過者数(転出者-転入者)

±0人(2030年) ※ 転出者数と転入者数の均衡を図る。

これらの目標を達成した場合の人口は、2060年（令和42年）で5,800人以上を維持できる見込み※9であり、なによりも人口ピラミッドが釣り鐘型に近い形となります。つまり、次代を担う子どもたちがしっかりと生まれ育つ状況が出現し、地域の持続可能性が一定程度確保されることが見込まれます。

なお、これらの目標の達成により実現する本町の具体的な将来人口目標については、以下のとおりとします。

目標年	基本ケースによる推計値	人口目標	基本ケースの推計値に対する改善数
2030年（令和12年）	9,000人	9,300人	約300人
2040年（令和22年）	7,000人	8,000人	約1,000人
2060年（令和42年）	3,700人	5,800人	約2,100人



南三陸町総人口の推移

出典：南三陸町人口ビジョン改訂版(平成30年4月)

※8 「南三陸町人口ビジョン改定版（平成30年4月）」ケース別推計・基本ケースより

※9 「南三陸町人口ビジョン改訂版（平成30年4月）」ケース別推計・ケース4より

参考 南三陸町における持続可能なまちづくり（^{エス・ディー・ジーズ} S D G s）に向けた取り組み
～「森 里 海 人 いのちめぐるまち 南三陸」という将来像に向けて～

南三陸町は、三方の山が志津川湾を囲むように位置し、町の境界と分水嶺がほぼ一致しています。町に降った雨は山で森の恵みであるミネラル分を含んで川を伝い、人々が暮らす里からの栄養も取り込んで海に注がれています。山から川、そして、志津川湾に至る、自然のサイクルで豊かな生態系が支えられています。

町では震災の際、外部に依存していたエネルギー入手が困難を極めたことから環境にやさしく災害に強いまちづくりをめざす「南三陸町バイオマス産業都市構想」（2014 年度）を策定し、再生可能エネルギーを組み込んだエネルギーシステムを構築しています。

また、持続可能な社会構築を目指した森林と海での取り組みの中で、自治体で初めて国際認証 FSC（南三陸杉）・ASC（南三陸戸倉っこかき）の2つを同時取得（2015 年度）、その後、地域資源活用プラットフォームを構築しています。その後、“志津川湾”は「ラムサール条約湿地」に登録（2018 年度）されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



このように、南三陸町では、“官民連携”で地域資源に新たな価値を付加した「南三陸ブランドづくり」と、地域循環型社会に向けた取り組みが進められています。

第2期総合戦略では各施策に対して、地球上の誰一人として取り残さないことをめざして取り組んでいる普遍的な目標である「持続可能な開発目標

（^{エス・ディー・ジーズ} S D G s）」の17目標を組み込み、地方創生を推進します。

《持続可能な開発目標》

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS（^{エス・ディー・ジーズ} S D G s）の17目標

- 目標 1 貧困をなくそう
- 目標 2 飢餓をゼロに
- 目標 3 すべての人に健康と福祉を
- 目標 4 質の高い教育をみんなに
- 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標 6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標 8 働きがいも経済成長も
- 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標 10 人や国の不平等をなくそう
- 目標 11 住み続けられるまちづくりを
- 目標 12 つくる責任 つかう責任
- 目標 13 気候変動に具体的な対策を
- 目標 14 海の豊かさを守ろう
- 目標 15 陸の豊かさも守ろう
- 目標 16 平和と公正をすべての人に
- 目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう

Ⅲ. 具体的な取り組み内容

1. 第2期南三陸町総合戦略施策体系図

本町では、令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）の5か年で、第2期総合戦略を実施します。以下に施策体系図を示します。

第2期総合戦略では、「官民連携で南三陸町らしさを実現する」という『横断的な目標』を掲げ、新たに「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」という施策に取り組んでいきます。





2. 施策・事業と客観的指標

総合戦略に掲げる基本目標を達成するための施策と具体的な事業、事業ごとのKPI（重要業績評価指標）、取り組み目標年次を次のとおり設定し、官・民・地域が連携した地方創生を目指します。

※第1期戦略の達成状況は、H30年度実績を基に、以下の3区分で評価しています。

◎：目標達成

○：目標達成見込み

△：目標達成不可能

基本目標1 私たちは 豊かな自然のなかで ともに支えあい いのち 世代 をつなぎます

施策1-1 若い世代の結婚したいを実現する

事業1-1-① 結婚活動支援の充実

具体的取り組み	[継続] 南三陸町内の結婚を希望する独身男女に対し、結婚相手紹介サービスの利用料を補助				
総合計画（実施計画）における位置づけ		総合計画策定後に新設された事業のため、該当する計画はなし			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
成婚数		—		7 件（年間）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
結婚活動支援事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	○	H30 年度実績：7 件（累計） （目標値：10 件（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「イベントを通じたカップル成立数」 ※令和元年度より、取り組み内容を「結婚相手紹介サービス利用料の補助」に変更			
第 1 期を振り返っての課題・改良点	これまで実施した婚活イベントでは、カップルが成立したとしても、成婚に至ったかまでは把握できなかった。民間の結婚相手紹介サービスを活用することで、成婚までの十分なサポートを行い、更に成婚件数も把握することが可能となる				

施策 1-2 出産・子育てがしやすいまちづくり

事業 1-2-① 子ども・子育て支援の充実

具体的取り組み	〔継続〕 教育・保育サービス、放課後児童健全育成事業の実施					
総合計画（実施計画）における位置づけ	（想定）政策3施策3-1 基本事業②					
KPI（重要業績評価指標）	現状値（H30）			目標値（R6）		
予想受け入れ人数確保数	—			57人（R2） 58人（R3） 58人（R4） 57人（R5） 56人（R6）		
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6	
放課後児童健全育成事業	事業実施					
第1期総合戦略の達成状況	△	H30 年度実績：9 人（年間） （目標値：0 人（年間）） ※第1期総合戦略での KPI は「待機児童数」				

具体的取り組み	〔継続〕 子育て支援センター事業の実施					
総合計画（実施計画）における位置づけ	（想定）政策3施策3-1 基本事業②					
KPI（重要業績評価指標）	現状値（H30）			目標値（R6）		
予想受け入れ人数確保数	—			2,677 人（R2） 2,477 人（R3） 2,362 人（R4） 2,262 人（R5） 2,176 人（R6）		
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6	
地域子育て支援拠点事業	事業実施					
第1期総合戦略の達成状況	△	H30 年度実績：5,604 人（年間） （目標値：7,000 人（年間）） ※第1期総合戦略での KPI は「子育て支援センター利用者数」				

具体的取り組み	[新規] 年2～3回「南三陸子ども・子育て会議」を開催し、子ども・子育て支援事業計画の点検、検討、見直しを行う				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策3施策3－5基本事業②事業02			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続		—		—	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
子ども・子育て会議事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

具体的取り組み	[継続] 育児休業制度等の取得促進など子育てにやさしい職場環境づくりの実現へ向けた町内企業への働きかけ				
総合計画（実施計画）における位置づけ		（想定）政策3施策3－1基本事業②			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続		—		—	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
子育てに伴う休暇取得の促進	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：157 社（年間） （目標値：146 社（年間）） ※第1期総合戦略での KPI は「子育て応援企業数」			

事業 1－2－② 子ども医療費助成

具体的取り組み	[継続] 18歳までの医療費無償化（所得制限の撤廃）				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策3施策3－5基本事業④事業01			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続		—		—	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
子ども医療費助成	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	実績値不明のため評価できず			

事業 1-2-③ 子育て世帯応援券の配布

具体的取り組み	〔継続〕 子どもが生まれた時や小学校入学時の子育てにおける経済的負担を軽減するため、町内で使える応援券を配布					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策3施策3－5基本事業②事業12			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続			—		—	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
子育て世帯応援券支給事業 （子育て支援係）		事業実施				
第1期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：67 人（年間） （目標値：73 人（年間）） ※第1期総合戦略でのKPIは「出生数」			

施策 1-3 「学びたい」を実現する

事業 1-3-① 修学資金の貸付制度

具体的取り組み	[継続] 看護・介護学生等に対する修学資金の無利子貸付				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策3施策 3-2 基本事業①事業 12			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
南三陸町の医療、介護施設への 制度利用者就業者数		—		5 名（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
看護・介護学生等修学資金貸付事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	△	H30 年度実績：8 人（累計） （目標値：12 人（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「看護、介護学生等 に対する修学資金の無利子貸付制度利用者数」			

事業 1-3-② 地域を学ぶ・地域で学ぶ人材育成

具体的取り組み	[継続] 土曜塾等での学力向上や地域資源を用いた町内小・中学校の学習支援、志津川高校の特色ある教育支援、地域連携教育の枠組みづくり				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策4施策4-1 基本事業④事業1 1			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
学習支援センター（志翔学舎）利用者延べ人数		2,567 人（年間）		3,000 人（年間）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
地域を学ぶ・地域で学ぶ人材育成事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	△	H30 年度実績：2,567 人（年間） （目標値：3,000 人（年間））			

基本目標2 私たちは 地域の ^{ちから}仕事を輝かせます

施策2-1 まちのしごとを輝かせる

事業2-1-① 産業の就業支援

具体的取り組み		[継続] 1 次産業従事希望者への国・県等の支援事業等の紹介				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策 2 施策 2-2 基本事業②事業 14			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
相談件数			20 件（累計）		20 件（累計）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
第 1 次産業就業支援事業（農業）		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		◎	H30 年度実績：20 件（累計） （目標値：20 件（累計））			
第 1 期を振り返っての課題・改良点		・町内一次産業就業希望者向けの窓口を明確化する ・南三陸町HPへ各種支援情報を掲載し、情報発信を充実させる				

具体的取り組み	[新規] 水産加工業における外国人労働者同士の交流の場を設ける				
総合計画（実施計画）における位置づけ	新規事業のため該当する計画はなし				
KPI（重要業績評価指標）	現状値（H30）		目標値（R6）		
参加人数	—		300人（累計）		
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
水産加工場労働者交流会事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

事業 2-1-② 町内産業の見える化推進

具体的取り組み	[継続] 産業フェア等のイベントと連携した町内企業の事業紹介／関係機関と連携した企業（団体）のミッション・ビジョンの明文化や発信力強化のための支援・協力、機運醸成				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策 2 施策 2－6 基本事業①事業 11		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
産業 PR ブース出展数			52 社（累計）		60 社（累計）
年度計画		R2	R3	R4	R5 R6
町内産業の見える化推進事業		事業実施			
第 1 期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：52 社（累計） （目標値：80 社（累計））		
第 1 期を振り返っての課題・改良点		より多くの事業者が参加できるような工夫を検討する			

事業 2-1-③ 雇用促進の奨励

具体的取り組み	[継続] 町内の中学校出身者が高校・大学卒業後、町内企業に就職した際、就職者に対し給付金を支給					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策 2 施策 2－6 基本事業③事業 02			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
町内新卒者就職者数（給付対象）			18 人（累計）		16 人（累計）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
町内新卒者就労促進奨励事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：18 人（累計） （目標値：50 人（累計））			

具体的取り組み	[継続] U・Iターン者が町内企業に就職した際、就職者に対し給付金を支給					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策 2 施策 2-6 基本事業①事業 12			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
U・Iターン者就職者数（給付対象）			13 人（累計）		10 人（累計）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
U・Iターン者就労促進奨励事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：13 人（累計） （目標値：30 人（累計））			

具体的取り組み	[新規] 求人サイト設置等企業が求人に要した費用の 2 分の 1 を補助（上限 30 万）					
総合計画（実施計画）における位置づけ				新規事業のため該当する計画はなし		
KPI（重要業績評価指標）				現状値（H30）		目標値（R6）
補助金交付件数				—		10 件（累計）
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
労働力確保対策事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		—	—			

具体的取り組み	[新規] 町内の小中高校生に職業体験をさせ、働く意欲を育む				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策 2 施策 2-6 基本事業③事業 02		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
事業の継続			—		—
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
就業体験推進事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	—	—			

事業 2-1-④ 無料職業紹介の充実

具体的取り組み	[継続] 求人・求職の受付と斡旋（月・水・金）				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策 2 施策 2-6 基本事業①事業 02		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
相談件数			601 件（年間）		500 件（年間）
就職決定者数			77 人（年間）		70 人（年間）
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
無料職業紹介事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	△	H30 年度実績：2,800 件（累計） （目標値：5,000 件（累計））			
	△	H30 年度実績：77 人（年間） （目標値：155 人（年間））			

具体的取り組み	[継続] ホームページ等への求人情報の掲載				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策 2 施策 2－6 基本事業①事業 02			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
町 HP 求人情報閲覧数		9,079 件（年間）		6,000 件（年間）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
無料職業紹介事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：14,662 件（累計） ※令和元年度実績（予測）：6,000 件（年間） （目標値：10,000 件（累計））			
第 1 期を振り返っての課題・改良点	新規求人の受付や既存求人の取り下げ等があり次第、10 日前後を目途に HP 更新を実施する				

事業2-1-⑤ 地元企業の支援

具体的取り組み	[新規] 企業の育成と誘致に必要な措置をし、産業の振興と雇用の拡大を図る				
総合計画（実施計画）における位置づけ	政策2 施策2-4 基本事業②事業01				
KPI（重要業績評価指標）	現状値（H30）		目標値（R6）		
事業の継続	—		—		
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
企業立地奨励事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

施策2-2 観光・交流を促進する

事業2-2-① 観光・体験・交流の促進

具体的取り組み	[継続] 交流人口拡大に向けたプラットフォーム機能の構築、情報発信の強化				
総合計画（実施計画）における位置づけ	政策2 施策2-5 基本事業②事業01				
KPI（重要業績評価指標）	現状値（H30）		目標値（R6）		
観光入込客数	144 万人（年間）		120 万人（年間）		
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
交流人口拡大推進事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：144 万人（年間） （目標値：120 万人（年間））			

具体的取り組み	[継続] 教育旅行誘致に伴う受け入れ体制整備					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－5基本事業②事業01			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
教育旅行受入人数			－		4,500 人（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6	
交流人口拡大推進事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：4,535 人（年間） （目標値：6,000 人（年間））			

具体的取り組み	[新規] 南三陸震災復興祈念公園の運営を通じ、震災を記憶し、復興の歩みを後世に伝え、犠牲者の慰霊と住民への励まし、世界的規模での連帯による復興の意義をアピールする				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策 1 施策 1－1 基本事業①事業06			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続		－		－	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
都市公園事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	－	－			

事業2-2-② 訪日外国人誘致の促進

具体的取り組み	〔継続〕 プロモーション活動、おもてなしセミナー開催、手差し会話マニュアルなどの多言語化対応、おもてなしセミナー開催、他					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－5基本事業①事業02			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
訪日外国人受入泊数			－		1,300泊（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
訪日外国人誘致整備事業		事業実施				
第1期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：551 人（年間） （目標値：2,000 人（年間）） ※第1期総合戦略でのKPIは「訪日外国人旅行者受入数」			

事業 2-2-③ 地域交流拠点形成の推進

具体的取り組み	[継続] 道の駅、商店街、公共交通拠点の整備による観光・交流の促進（地域交流拠点の形成）				
総合計画（実施計画）における位置づけ			R2 年度以降検討のため、該当する計画はなし		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
R2 年度以降検討			—		—
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
R2 年度以降検討	制度設計	事業実施			
第 1 期総合戦略の達成状況	—	—			

施策 2-3 新たなしごとをつくる

事業 2-3-① 南三陸町創業支援

具体的取り組み	[継続] 起業支援補助金として、起業化計画の認定を受けた事業者に対し、300 万円を限度に補助対象事業費の 1/2 を補助					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－6基本事業④事業〇1			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
起業件数			18 件（累計）		25 件（累計）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
起業支援事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		○	H30 年度実績：18 件（累計） （目標値：20 件（累計））			

具体的取り組み	[新規] 市民講座などを通じてさまざまな職種経験のなかでディスカッションを行い、新たな資源利用について提言をいただきプロジェクトを遂行するような取り組みを実践				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－3基本事業⑤事業02		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
事業の継続			—		—
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
異業種連携事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

基本目標3 私たちは ともに未来を拓く人々が集う まち家をつくりま

施策3-1 移住・定住を促進する

事業3-1-① 移住・定住総合窓口の設置等

具体的取り組み	[継続] 移住者座談会、創業支援や職業紹介との連携					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策5施策5－1 基本事業①事業01			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
移住関連イベント参加人数			124 人（年間）		100 人（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
移住定住促進（総合窓口）事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		◎	H30 年度実績：403 件（累計） （目標値：400 件（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「移住相談件数」 ※第 1 期総合戦略では「お試し移住事業」と合わせた目標値			
第 1 期を振り返っての課題・改良点		・移住者を受け入れる環境整備を行う ・事業は多岐に渡ることから、各担当課と連携する				

具体的取り組み	[継続] お試し移住に関する情報発信等を行うとともに、関係機関と連携し、移住希望者への紹介を実施				
総合計画（実施計画）における位置づけ		総合計画策定後に新設された事業のため、該当する計画はなし			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
お試し移住者数		—		20 人（年間）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
お試し移住事業		事業実施			
第 1 期総合戦略の達成状況		◎	H30 年度実績：20 件（年間） （目標値：400 件（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「移住相談件数」 ※第 1 期総合戦略では「移住者座談会、創業支援や職業紹介との連携」と合わせた目標値		
第 1 期を振り返っての課題・改良点		空家を改修してシェアハウスにするなど、移住希望者のニーズに対応する施設をつくる			

具体的取り組み	[継続] 空き家バンク制度の利用促進					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策5施策5－1 基本事業①事業1 3			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
空き家登録件数			—		20 件（累計）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
空き家バンク利用促進事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：5 件（累計） （目標値：40 件（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「空き家バンク活用件数」			

事業 3－1－② 住宅確保の推進

具体的取り組み	〔継続〕 定住促進住宅の維持・運用					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策3施策3－8基本事業①事業04			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
維持・運用する戸数			5戸（年間）		5戸（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
町単独住宅整備事業 （定住促進住宅の整備）		事業実施				
第1期総合戦略の達成状況		◎	H30年度実績：なし（目標値：70人（累計）） ※第1期総合戦略でのKPIは「制度利用者数」 ※第1期総合戦略では「事業2－1－① 住宅確保の推進」単位での目標値			

具体的取り組み	[継続] 住環境が整うまでの、移住者向け家賃補助				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策5施策5－1 基本事業①事業1 2			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
制度利用者数		22 人（累計）		30 人（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
移住定住促進家賃補助事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：22 人（累計） （目標値：70 人（累計）） ※第 1 期総合戦略では「事業 2－1－① 住宅確保の推進」単位での目標値			

具体的取り組み	[継続] 空き家改修費の補助				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策5施策5－1 基本事業①事業1 3			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
制度利用者数		8 人（累計）		50 人（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
空き家バンク利用促進事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：8 人（累計） （目標値：70 人（累計）） ※第 1 期総合戦略では「事業 2－1－① 住宅確保の推進」単位での目標値			

具体的取り組み	[継続] 公営住宅の有効活用				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策5施策5－1 基本事業①事業1 4			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
入居可能になってから、3 ヶ月以内の入居率		—		80%	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
公営住宅の有効活用		事業実施			
第 1 期総合戦略の達成状況		◎	H30 年度実績：56 人（累計） （目標値：70 人（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「制度利用者数」 ※第 1 期総合戦略では「事業 2－1－① 住宅確保の推進」単位での目標値		
第 1 期を振り返っての課題・改良点		・ 単身入居者の孤独死による事故物件の扱い ・ 収入超過者に対する明渡し請求及び住宅のあっせん事務について検討の必要がある。			

具体的取り組み	[継続] 若者（対象：世帯主及びその配偶者の年齢が40歳未満）の定住促進のため、新築住宅取得時の経済的支援				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策5施策5-1 基本事業①事業14			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
制度利用者数		—		15 件（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
若者定住マイホーム取得促進事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：3 人（累計） （目標値：70 人（累計）） ※第1期総合戦略では「事業2-1-① 住宅確保の推進」単位での目標値			

施策3-2 繋がりを築き関係人口を増やす

事業3-2-① 地域おこし協力隊受入れ

具体的取り組み	[継続] 都市地域から過疎地域等に住民票を移動し、一定期間、地域に居住して地域おこしに関する活動をする者を地域おこし協力隊員として任命				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策2施策2-5 基本事業③事業11			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
協力隊受入数		11 人（累計）		15 人（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
地域おこし協力隊受入れ事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：11 人（累計） （目標値：10 人（累計））			

事業 3-2-② 南三陸ファンクラブ

具体的取り組み	[新規] 南三陸に関わる人々と町民を結ぶ交流プログラムである「南三陸ファンクラブ」を運営				
総合計画（実施計画）における位置づけ		新規事業のため該当する計画はなし			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
南三陸ファンメルマガ購読者数		—		5,000 件（累計）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
南三陸ファンクラブ運営事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	◎	H30 年度実績：3,089 人（累計） （目標値：2,000 人（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「南三陸応援団登録者数」			

事業 3-2-③ ふるさと納税の推進

具体的取り組み	[新規] ふるさと納税を通じて本町への関心と理解を高め、支援・応援をしていただける方を増やすことで、交流人口の拡大や、それによる経済効果により、財源確保を図る				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策5施策5－4基本事業②事業2			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
寄附件数		1,210 件（年間）		2,000 件（年間）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
ふるさと納税の推進	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	—	—			

横断的な目標 官民連携で南三陸町らしさを実現します

施策 4-1 民間活動をサポートする

事業 4-1-① おらほのまちづくり補助金

具体的取り組み	[継続] 住民有志やボランティア団体等の非営利団体が企画・実施する公益活動、集いと賑わい創出事業等に対し、補助金を交付／平成28年度から総合戦略に寄与する事業の新設による民間活力の導入				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策1 施策1－5基本事業①事業01			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
総合戦略の推進に資する事業の採択件数		4 件（年間）		7 件（年間）	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
おらほのまちづくり支援事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	△	H30 年度実績：56 件（累計） （目標値：90 件（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「採択件数」			
第 1 期を振り返っての課題・改良点	計画書及び予算書の様式を統一し、募集期間終了後にヒアリング（これまでの採択実績を踏まえた助言等）を実施することにより、事業効果の向上が期待できる。				

事業 4-1-② 官民連携の推進

具体的取り組み	[継続] 官民連携による地域課題への取り組み定着のための総合相談窓口の設置（民間活動をサポートし、地域課題に立ち向かうための機運醸成、聞き取り、話し合いの機会提供等）					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策5施策5－4基本事業④事業〇1			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
相談件数（地方創生関連のみ）			3 件（年間）		10 件（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
PPP（官民連携）の推進		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：32 件（累計） （目標値：60 件（累計）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「相談・サポート件数」			

事業 4-1-③ 企業版ふるさと納税

具体的取り組み	[新規] 企業版ふるさと納税制度を活用した官民連携による地方創生				
総合計画（実施計画）における位置づけ			新規事業のため該当する総合計画はなし		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
寄附額			—		1 億 5 千万円（累計）
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
企業版ふるさと納税制度を活用した 地域再生事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	—	—			

施策 4-2 南三陸ブランドを輝かせる

事業 4-2-① 南三陸ブランドの育成と管理

具体的取り組み	[継続] 地域資源プラットフォームを核とした森・里・海・ひとに関する南三陸ブランドの育成と管理 (フォレストック、FSC、ASC、バイオマス産業都市構想等)					
総合計画（実施計画）における位置づけ			LP③事業 11			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
ブランド基準策定件数 （ブランド基準策定事業とリンク）			—		1 件	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
南三陸ブランド育成・管理事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		—	実績値不明のため評価できず			

具体的取り組み	[新規] 町民と都市住民が農林業体験を通じた交流を促進することで、農業者の所得向上と生きがいを創出					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－2事業③事業02			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続			—		—	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
グリーン・ツーリズム農林業体験 推進事業		事業実施				
第1期総合戦略の達成状況		—	—			

具体的取り組み	[新規] 地産地消を推進し、地元農林水産業の活性化を図る				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－2事業③事業03		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
支援件数			－		5 件（年間）
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
地産地消推進事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	－	－			

具体的取り組み	[新規] 地元木材の普及、建主への補助を行い、南三陸材の利用を促進する					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－2事業④事業01			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
建設戸数			14 件（年間）		15 件（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
南三陸材利用促進事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		－	－			

具体的取り組み	[新規] ブランドの発信、FSC 等の付加価値を付け取引価格を上昇させることで良好な森林経営を持続させる				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－2事業④事業04		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
認証林面積			2,468h a		3,000h a
FSC 出荷量			－		6,000m³
年度計画		R2	R3	R4	R5 R6
FSC 認証事業		事業実施			
第 1 期総合戦略の達成状況		－	－		

事業4-2-② 地域資源の研究・共有

具体的取り組み	[継続] 自然環境活用センターにおける、地域資源の調査・研究、人材育成、交流、情報発信				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－2基本事業②事業1 1		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
センター利用者数			—		4,500 人（累計）
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
エコカレッジ事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	—	実績値不明のため評価できず			

具体的取り組み	[新規] 【農林水産物のブランド開発支援】【水産物の販路拡大事業】の方向性を同じくする総合計画記載事業と合わせ、南三陸の水産物のブランド基準策定事業を行う				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策2施策2－3基本事業③事業03 政策2施策2－3基本事業④事業01 施策LP－03事業01			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
ブランド基準策定数		—		1 件	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
水産物ブランド基準策定事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

事業4-2-③ 資源循環型社会形成の推進

具体的取り組み	[新規] 循環型社会の形成によるまちづくりに対する町民の意識向上を図るとともに、観光客等の交流者に対しても環境保全の呼び掛けを行う				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策2施策2－7基本事業①事業11			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続		—		—	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
資源循環型社会形成事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

具体的取り組み	[新規] 生ごみ・可燃ごみの収集及び処理体制を検討し、3Rを推進していく				
総合計画（実施計画）における位置づけ		政策3施策3－7基本事業②事業04			
KPI（重要業績評価指標）		現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続		—		—	
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
3Rの推進	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

具体的取り組み	[新規] 地球温暖化防止（CO ² の削減）と自然エネルギーの活用、災害時の各家庭における必要最小限の電力確保のため、住宅用太陽光発電の導入を推進する					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策2施策2－7基本事業②事業 03			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
補助件数			－		50 件（累計）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
住宅用太陽光発電導入支援対策 補助事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		－	－			

施策4-3 情報発信・共有の仕組みを強化する

事業4-3-① まちの魅力を発信・共有する

具体的取り組み	[継続] まちの魅力をわかりやすく発信するため、各種イベント等を動画で掲載する					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策5施策5－5基本事業①事業14			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
ユーチューブビュー数			－		2,000 回（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
ホームページ運営事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		○	H30 年度実績：2,125,884 件（年間） （目標値：1,900,000 件（年間）） ※第 1 期総合戦略での KPI は「町ホームページビュー数」			

事業 4-3-② 集うまちを発信・共有する

具体的取り組み	[継続] 移住促進施策や地域コミュニティ活動等の情報発信・共有の仕組みを強化					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策5施策5－5基本情報①事業17			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
民間ホームページ閲覧数			28,172 件（年間）		20,000 件（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
移住促進施策や地域コミュニティ活動等の情報発信・共有事業		事業実施				
第1期総合戦略の達成状況		△	H30 年度実績：28,172 件（年間） ※令和元年度実績（予測）：20,000 件（年間） （目標値：30,000 件（年間）） ※第1期総合戦略でのKPIは「民間サイト閲覧数」			

事業 4-3-③ まちの子育て・教育環境を発信・共有する

具体的取り組み	〔継続〕 子育てハンドブックをはじめとする子育て支援情報や特色ある地域教育等の情報発信・共有の仕組みを強化					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策5施策5－5事業①事業18			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
ハンドブック発行数			700 部（年間）		700 部（年間）	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
子育て・教育に関する 情報発信・共有事業		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		◎	H30 年度実績：700 部（年間） （目標値：700 部（年間））			
第 1 期を振り返っての課題・改良点		母子手帳機能をつけたアプリを検討している。				

施策 4-4 新しい時代の流れを力にする

事業 4-4-① 未来技術を活用した地域課題の解決

具体的取り組み	[新規] RPA の取り組みを推進する 注) Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション): ホワイトカラーのデスクワーク(主に定型作業)を、ルールエンジンや AI(人工知能)などの技術を備えたソフトウェアのロボットが代行・自動化する概念				
総合計画(実施計画)における位置づけ			新規事業のため該当する計画はなし		
KPI(重要業績評価指標)			現状値(H30)		目標値(R6)
次年度以降制度設計予定			—		—
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
RPA 推進事業(仮)	制度設計				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

具体的取り組み	[新規] 新たなモビリティ(さんさん館、いりやど)の導入の推進				
総合計画(実施計画)における位置づけ			新規事業のため該当する計画はなし		
KPI(重要業績評価指標)			現状値(H30)		目標値(R6)
モビリティ利用者			—		30人(R2年度)
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
スマートモビリティ実証事業	事業実施				
第1期総合戦略の達成状況	—	—			

施策 4-5 多様な人材の活躍を推進する

事業 4-5-① 歴史・文化の継承

具体的取り組み	[新規] 町民自ら芸術文化活動に参加することで若い世代への文化継承、担い手創出、情報発信を図る				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策4施策4－4基本事業①事業 03		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
事業の継続			—		—
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
芸術文化団体育成支援事業	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	—	—			

具体的取り組み	[新規] 町民が芸術文化活動に参加し成果を発表することにより、地域生活文化の向上を図る					
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策4施策4－4基本事業①事業02			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続			—		—	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
町民文化祭		事業実施				
第1期総合戦略の達成状況		—	—			

事業 4-5-② スポーツの推進

具体的取り組み	[新規] スポーツ観戦や選手との交流により町民の心身をリフレッシュする				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策4施策4－3基本事業①事業 02		
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）
事業の継続			－		－
年度計画	R2	R3	R4	R5	R6
各種プロスポーツ等の招致	事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況	－	－			

具体的取り組み		[新規] 各種スポーツ大会や講習会を通して町民の交流を図る				
総合計画（実施計画）における位置づけ			政策4施策4－3基本事業①事業 03			
KPI（重要業績評価指標）			現状値（H30）		目標値（R6）	
事業の継続			—		—	
年度計画		R2	R3	R4	R5	R6
各種講習会・大会の開催		事業実施				
第 1 期総合戦略の達成状況		—	—			

南三陸町総合戦略推進会議 委員の皆様



会長：最知 明広

委員の皆様、1年間ご苦勞様でした。最後のまとめの時期に、コロナウイルス騒ぎで学校が休校になり、お子さんがいる委員さんは大変だったと思います。

総合戦略は策定することが目的ではなく、戦略が実行されるか否かが大切だと思っていますので、今後も厳しい目でチェックいただき、貴重なご意見をお願いいたします。

委員：安藤 仁美

移住者として、子育て中の一人として、少しでもリアルな声が届けられと、会議に臨んできました。南三陸は「森里海ひといのちめぐるまち南三陸」という素晴らしいビジョンを掲げる町です。町民一人ひとりが、誇りをもってまちづくりを語る町になればと願っています。

委員：小山 祥子

子育て世代が安心して生活できる町。沢山の経験を積んだ祖父母世代が次世代にしっかりバトンを繋げる町。豊かな自然を生かし、これからも活力ある町であってほしいと思います。沢山の話し合いの中、私自身とても勉強になりました。ありがとうございました。

委員：山内 祐子

委員会に参加させて頂いた中で、町づくりの難しさを感じました。それぞれの世代が『南三陸町は自慢できる町』『希望の持てる町』と思えるような町になれば…と思っています。

委員：中村 未来

厳しい現実を感じることも時にはあるけれど、みんなでまちの未来について語り合い、知恵を出し合うことは、とても楽しく、好きな時間でした。自然・人を含む生き物たち、みんなにとって居心地の良いまちとして、未来へずっと続いてほしいと思います。

委員：渡辺 公子

創生委員として子育て世代の意見を委員会に伝えることが出来たという思いで参加致しました。好きな町に手を加えると素敵な町になる。民間の意見を活かして多様性のある南三陸町になる事を願い、今後も様々な取り組みに出来る範囲で関わっていけたらと考えております。

委員：伊藤 孝浩

総合戦略と聞くと難しそうですが、町の未来を描いていく、次の世代へ暮らしを繋いでいく、有意義な会議でした。職業も世代も異なる人がいたことで、様々な角度からの意見が出ました。そんな場が、町のあちこちでできてくることが、良いまちづくりの一歩だと感じました。

委員：及川 美香

年6回の会議でしたが、未来の南三陸町について熱い議論ができ、皆さんと出会えて有意義な時間でした。この街で暮らしている人達が住みやすい街になれば良いと思います。

海、山、里、自然豊かな南三陸町が大好きです！

委員：小野寺 邦夫

復興のその先には、確かに客観的には厳しい見通しがあります。しかしその一方で、これからも希望と誇りを持ちながら生きていく地域の姿も現れてきました。見識が高く、この地域に本当に熱い思いを持つ方々との話し合いにとても学ばせて頂きました。有難うございました。

委員：佐藤 克哉

森里海ひといのちめぐるまち 南三陸という素敵な町の将来ビジョンを実現して、笑顔で豊かに住み続けられる町になるようにという想いで会議に参加しました。この町の未来の為にみんなで真剣に熱い議論を重ねてきました。未来に向けて町民一丸となって頑張りましょう。

委員：高橋 直哉

自然と共生する町になってほしいと思います。漁業者として感じるこの町の魅力は、森・里・海が巡ること。何一つ欠けることなく、全ての資源を大切に保護し循環させて、地域の宝を育んでいける町に出来るよう取り組みたいです。

委員：佐藤 太一

年6回の委員会は皆さんと熱い議論ができ有意義な時間でした。南三陸町の強みと当初からあった、持続可能な町を意識して議論してきました。南三陸町は先進的な部分も多くある素敵な町であることを再確認しました。今後もチャレンジの多い町でありますように！

委員：吉田 清人

昨年より参加させていただき、とても有意義な会議でした。震災から9年が経過し「平成」が終わり「令和」という新しい時代を迎え、町の将来像のもと活力に満ち、豊かで優しさのある南三陸を取り戻すために震災の重さを心に刻みつつ、さらなる未来を切り開いていきましょう。

委員：及川 貢

労働団体代表として参加しましたが、委員皆さんの議論にこの町の将来を想う熱い気持ちが伝わってきました。魅力ある職場が増えることで、結果的にそれぞれの家庭の幸せ度が上がっていくように、今後も微力ながら自らの活動を続けていきたいと一層感じたところです。

委員：重富 裕昭

業務上、南三陸町を様々な角度から見る機会を得ていましたが、まさか皆さんの暮らしに直結する町の計画策定に携わることになるうとは思っていませんでした。話し合いの成果が、南三陸町の今後に資するものであってくれればと思います。